

コミュニティ

SOCIAL



地域社会との双方向で継続的な対話活動

▶方針・考え方

●コミュニケーションを通じた地域社会の活性化と当社グループの発展

関西電力グループは、地域や生活に密着した事業者として、事業活動に関わる地域社会の発展なくしては、自らの発展はありえない、という認識のもと、地域経済や地域コミュニティの活性化に努めています。

今後とも、地域社会のみなさまと一層密接なコミュニケーションを推進し、お客さまや地域のみなさまの多岐にわたるご要望にお応えできるよう、ソリューションをお届けすることで、地域社会の活性化と当社グループの発展に繋げてまいります。

▶体制

●地域対応体制

関西電力(株)：総務室 地域連携グループ

関西電力送配電(株)：地域コミュニケーション部 地域コミュニケーショングループ ほか

▶目標

地域社会との信頼関係の維持・構築

▶取組み

●地域社会とのコミュニケーション・連携の強化

これまでから、エネルギー情勢や当社グループ事業全般について自治体等と双方向のコミュニケーションを重ねています。具体的には、当社グループ施設の見学会や勉強会等を開催することで当社グループ事業への理解を深めていただくとともに、そこでさまざまなご意見やご要望を頂戴しています。頂戴したご意見やご要望は、経営層をはじめ関係部門や現場第一線とも共有を図り、社内会議における議論等を通じて、より良い事業運営に役立てています。また、エネルギーをはじめとした地域における諸課題の解決に積極的に取り組むことにもつながっています。

近年、台風等自然災害の被害が甚大化していることを受け、災害時の各自治体との連携体制を強化しています。



自治体との勉強会



訓練



地域社会の発展に貢献する“コミュニティ事業”の推進

▶方針・考え方

●地域の活性化に向けた取組み

お客さまや社会のみなさまからのエネルギー領域にとどまらない多様なニーズにしっかりと耳を傾け、地域のみなさまの良きパートナーとして、「共に考え、共に未来を創る」という想いを持ちながら、地域活性化と持続的発展にむけた取組みを進めています。

▶体制

関西電力(株)：ソリューション本部

▶目標

持続可能で魅力的なまちづくりによる当社事業の成長

▶取組み

●当社ソリューションによる地域活性化への貢献

当社グループは、お客さまや地域社会の抱える課題やニーズを踏まえ新たなソリューションの開発に取り組むと共に、当社グループが保有する幅広いソリューションをコーディネートして提供する「コミュニティ事業」を通じて、持続可能で魅力的なまちづくりに取り組んでいます。

当社はこれまで、中之島エリアでの未利用エネルギーを活用した地域冷暖房の導入や、吹田市万博スマートコミュニティでのエリア一括受電、新技術導入に向けたバーチャルパワープラント(VPP)*の実証など、コミュニティにおけるエネルギーの効率利用に取り組んできました。

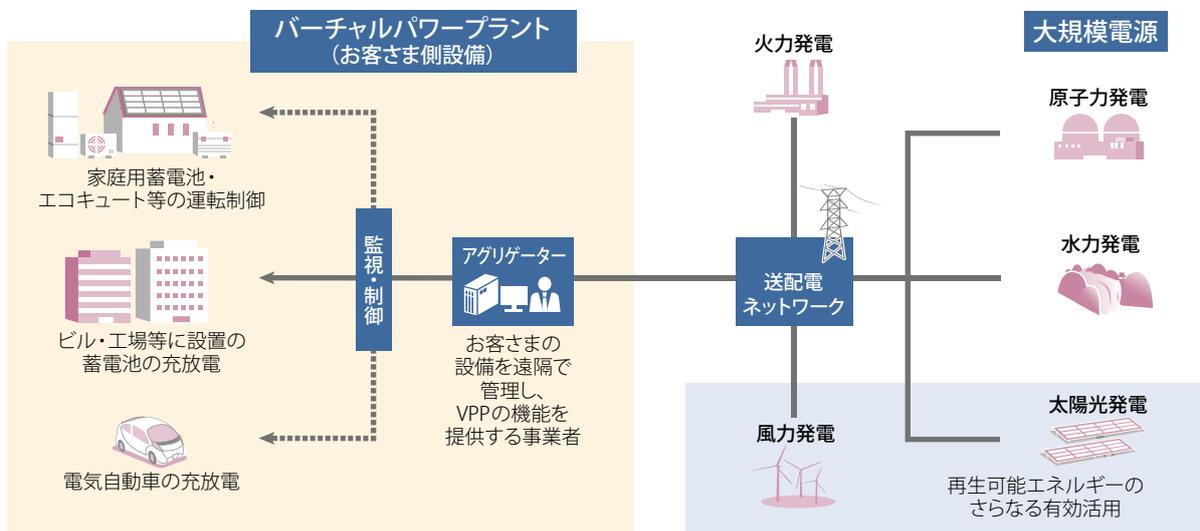
また、2023年4月にE-FLOW合同会社を設立し、VPP事業に加えてお客さまが保有する系統用蓄電池の電気や再生可能エネルギー設備の電気も市場運用する事業を開始しています。

更に、脱炭素に資するEVの普及拡大を図るためのワイヤレス給電等のインフラ整備や地域内の移動や地域店舗の活性化を目的とした「ラストワンマイル移動」「ラストワンマイル配送」等の新たなソリューションの開発に取り組むことで、より持続可能でより魅力的なまちづくりを目指しています。

当社は、今後も自治体など地域のみなさまと一緒に、地域の発展に寄り添う関西電力グループとして「コミュニティ事業」に取り組んでまいります。

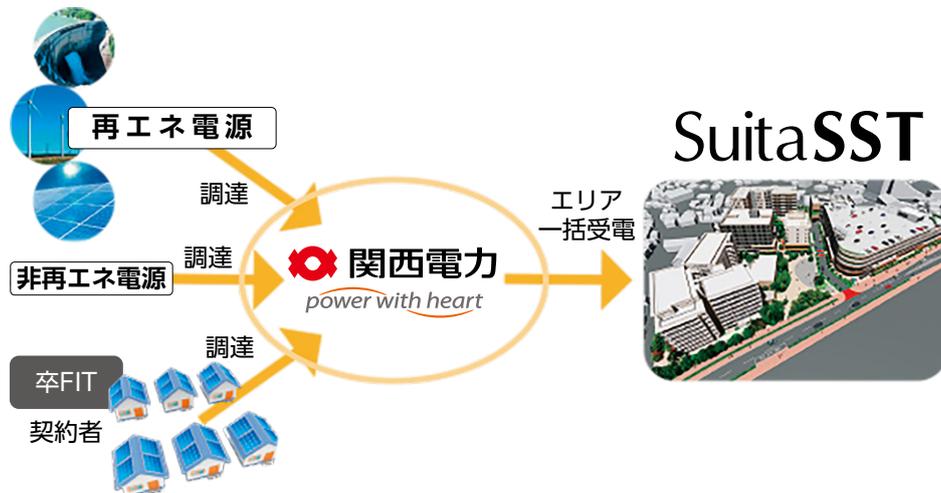
*各所に分散しているリソース(蓄電池、電気自動車等)を、IoTを活用して遠隔で統制制御し、あたかも一つの発電所のように機能させること

◆「バーチャルパワープラント」のイメージ



●日本初の「再エネ100タウン」を実現～ Suita サスティナブル・スマートタウンまちはらき～

エリア一括受電と再生可能エネルギー、非化石証書等の活用により、街全体の消費電力を実質再生可能エネルギー100%で賄う日本初の「再エネ100タウン」を実現し、2022年4月にまちはらきとなりました。非常時には、太陽光、蓄電池、EV等を活用し、レジリエンスの向上を図っています。



●世界遺産・国宝『姫路城』のCO₂排出実質ゼロを実現

当社は環境省が募集した「脱炭素先行地域」に姫路市と共同申請を行い、脱炭素先行地域の第一弾として選定されました。

姫路市のニーズや課題を読み解き、姫路市に合った当社ソリューションを活用することで、2026年度までに、姫路城とその周辺の公共施設の電力消費に伴うCO₂排出量の実質ゼロを目指してまいります。



●関連データ

	2021年度	2022年度	2023年度
構想が実現したサステナブルコミュニティの累計件数*	11件	15件	16件

※ 当社のみ数値

※ 6月末時点実績



地域・コミュニティとの共生

▶方針・考え方

●地域・コミュニティとの共生に向けた活動の実施

当社グループの事業活動や企業市民としての活動などの社会貢献活動を通して、社会課題の解決や地域の活性化に貢献します。

▶体制

関西電力(株)：広報室

関西電力送配電(株)：地域コミュニケーション部 ほか

▶目標

地域・コミュニティとの共生に向けた積極的な貢献

▶取組み

●当社グループリソースを活用した社会課題解決・美化活動

文化財の電気設備点検、地域に根ざした伝統文化や地域行事に協力しているほか、地域のみなさまと連携した美化活動、SDGsを意識した社会課題解決等に取り組んでいます。



祇園祭山鉦の配電検査



高所作業車を活用した姫路城の照明清掃



伐採樹木を餌として動物園に提供

●災害復旧に向けた取組み

台風等による非常災害時には、早期復旧に向けた現場対応や関係自治体等との連携、供給管外への応援派遣など、供給管内・管外問わず、当社グループ一丸となって電力の安全・安定供給のために取り組んでいます。



災害に備えた電力復旧訓練



雪害における電柱折損の復旧作業



送電線の飛来物除去

●事業を通じた社会課題解決への貢献

当社グループ会社の株式会社ボンデテックでは、デジタル社会進展により増え続ける電子ゴミ削減に向けて、主に法人が廃棄するパソコンを買取、再生、販売する事業に取り組んでいます。また、グループ内外の障がい者雇用特例子会社とパソコン再生業務で協業することで、障がい者の方の就労選択肢の多様化に貢献しています。



株式会社ボンデテック

●社会福祉への取り組み

障がいのある方々にアートの創造を通じて自己を表現する喜びを感じていただき、また作品をご覧いただく方々にその魅力や作者の可能性を感じていただくことを目的に、2001年から「かんでんコラボ・アート」を開催しています。受賞作品などは展示会やホームページを通じて紹介しています。



公開展示会(堂島リバーフォーラム)



2022年度最優秀賞受賞作品

●スポーツ・文化活動、次世代育成支援

地域スポーツであるボート部活動の支援や文化振興、次世代育成に取り組んでいます。



美浜美術展



ボート部

●地域との共存共栄

当社は地域社会の一員として地域経済の活性化やまちづくり検討、地域行事の運営等に協力し、地域社会への貢献、活性化の取り組みを地域のみならずとも進めています。



地域清掃活動



地域イベントへの当社ブースの出展

●社会貢献活動に励む従業員を支援

従業員の自発的な活動を支援するため、ボランティア休暇制度などを設けています。また、社内ポータルサイトにある「社会貢献サイト」では、ボランティア情報や各事業所での活動事例などを発信しています。さらに、2023年度には、従業員から社会貢献活動活性化に向けたアイデアを募集して応募者とタスクフォースを組成し、社会貢献活動の推進に会社と従業員が一体となって取り組んでいます。



社内外との積極的なコミュニケーション

▶方針・考え方

●広報・広聴活動を通じた社内外とのコミュニケーション

広報・広聴活動を通して、ステークホルダーのみなさまに適切に情報発信を行い、当社グループ事業にご理解をいただくとともに、頂戴したご意見やご要望について、経営層や従業員と共有を図り、事業活動に反映させるという双方向のコミュニケーションを心がけ、信頼を賜ることができるよう努めています。

また、このような活動を通じて、当社グループ事業への理解獲得を図るとともに、ブランドステートメント「power with heart」に込めた“まごころと熱意を込めたサービスで、お客さまや社会の『力』になりたい”という想いのもと、透明性の高い開かれた事業活動を展開していきます。

▶体制

関西電力(株)：広報室

関西電力送配電(株)：地域コミュニケーション部 ほか



▶目標

お客さまや社会のみなさま、従業員とのエンゲージメント強化につながる一歩進んだコミュニケーションで円滑な事業活動と中長期的な成長を後押しする。



取組み

●ステークホルダーへの情報開示の充実

当社グループは株主をはじめとしたステークホルダーのみなさまに向けて、有価証券報告書やコーポレートガバナンス報告書、統合報告書等にて会社の財務状態・経営成績等の財務情報や、経営戦略・経営課題、リスクやガバナンスにかかわる非財務情報等について、積極的に開示を行っています。その際、会社法等の法令で定められる内容のみならず、株主をはじめとするステークホルダーのみなさまとの対話に有用と考えられる情報については、正確かつ具体的な内容で開示するなど、付加価値の高い説明となるよう努めています。また海外投資家に向けての情報提供として必要に応じて英語版の媒体を作成しています。

当社グループは、株主・投資家との建設的な対話を促進し、法令遵守をはじめとする当社グループの基本姿勢や中期経営計画等をはじめとする経営の基本方針についてのご理解を得るとともに、いただいた建設的な意見を経営に反映することで、ステークホルダーのみなさまからの信頼を回復したうえで、長期に亘り確固たる信頼関係を築いていきます。

●報道機関への対応

報道機関が報じる情報は、お客さまの当社グループに対するご理解やイメージに大きく影響することから、より正確な情報発信が必要となります。そのため、社長会見をはじめ、報道機関への情報発信を積極的に実施するとともに、報道機関からの取材にも迅速かつ的確に対応することで、当社グループ事業への理解促進を図っています。また、リモート会見を実施する等、情報発信方法を多様化させ、さらなる情報発信の透明性の向上を図っています。

●メディアを活用した情報発信

ブランドステートメント「power with heart」に込めた想いのもと取り組む、当社グループの事業活動に関する情報をお客さまや社会のみなさまにわかりやすくお伝えするため、さまざまなメディアを活用しています。

テレビCMやWeb広告、新聞広告、そしてホームページやWebマガジン、SNSや広報誌などのツールを用いてより多くのお客さまとのコミュニケーションを活性化させることで、当社グループ事業への理解・信頼獲得を図っています。

◆テレビCM・Web広告・新聞広告による情報発信

映像や音楽で分かりやすく情報をお伝えできるテレビCMやWeb広告、比較的多くの情報をじっくりとご覧いただける新聞広告など、それぞれの媒体が持つ特性を生かして、当社グループの取組みを発信しています。



当社テレビCM

◆ホームページによる情報発信

エネルギーの安全・安定供給やサステナビリティ (ESG) の取組み、IR、採用活動などの企業活動に関する情報を掲載しています。お客さまにとってより見やすく分かりやすいホームページをめざし、バナーによる画像リンクを積極的に採用するなど、視聴者視線を徹底し、より見やすいグラフィカルな導線に見直すなど、継続的な工夫・改善を図っています。



当社ホームページ

◆Webマガジン「WITH YOU」による情報発信

関西エリアのトレンドやお役立ち情報など、お客さまや社会のみなさまの「知りたい!」、当社の「知ってほしい!」、ちょっとマニアックでホットな情報をお届けしています。



WITH YOU



WITH YOU



◆ SNSによる情報発信

当社グループの事業活動に共感していただくことをめざし、ソーシャルメディアを活用しています。Facebook、X（旧Twitter）では、動画を活用しながら働く従業員の姿にフォーカスを当てた投稿を行うと共に、双方向コミュニケーションを実施しています。X（旧Twitter）ではそれに加えて、災害時のコミュニケーションツールとして、災害等発生時に迅速に情報を発信しています。また、Instagramでは、「灯り」や「あたたかみ」をテーマとし、関西地域の美しい風景を紹介するとともに、当社施設を対象としたフォトコンテストなども実施しています。



当社グループFacebook



当社グループX(旧Twitter)



当社Instagram

◆ Web動画の公開による情報発信

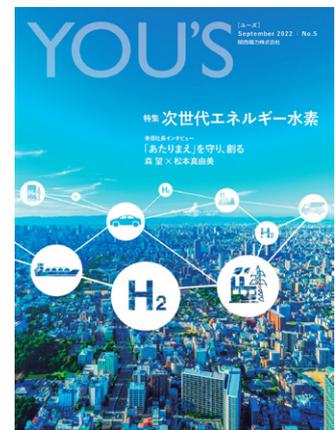
エネルギーミックスやゼロカーボン社会の実現をはじめ、当社グループの事業活動についての理解を深めていただけるよう、テレビCMと連動したWeb動画の公開や、人気YouTuberとの動画タイアップを実施しています。



テレビCM連動Web動画

◆ 広報誌「YOU'S」による情報発信

当社グループの事業活動についての理解を深めていただくことをめざし、広報誌「YOU'S」を発刊しています。お客さまや社会のみなさまの関心事をテーマとして取り上げながら、当社グループとみなさまを繋ぎ、面白くて役立つ情報をお届けしています。また、当社ホームページ内には「YOU'S」専用ページを開設し、Web限定記事も公開しています。



YOU'S

● ファンベースの取組み

当社グループは、これまで以上にお客さまとのコミュニケーションを大切に、共感をいただきながら、共に成長していくことで、もっと良い未来を創っていきたくと考え、2021年度から「かんでんファンベースプロジェクト」を立ち上げました。ファンのみなさまと交流する「かんでんファンミーティング」や発電所見学等のイベントを企画し、「ファンベース」の取組みを展開しています。



かんでんファンミーティング



かんでんファンイベント(発電所見学会)

● エネルギーに関する理解活動

エネルギーミックスやゼロカーボンの重要性について様々な方々に共に考えてもらう機会を創出するため、説明会や小・中学生への授業などを実施しています。実施にあたっては、VRを用いた発電所の疑似見学体験を行うなど、より分かりやすくなるような工夫に取り組んでいます。また、2022年度から、パソコンやスマートフォンなどからリモートで参加でき、発電所内部の見学や所員とのコミュニケーション等を通して、実際に現地を見学しているような体験ができる「オンライン見学会」も実施しています。



出前教室



オンライン見学会



● インターナルコミュニケーションの活性化

経営理念や中期経営計画の取組みをはじめとした経営上の重要事項や、当社グループの事業に関する情報、各職場や従業員の取組みなどを、社内報「関電新聞」や社内ポータルサイトを通じて、適時社内へ情報発信しています。

また、従業員のエンゲージメント向上を目的に、経営層と従業員、従業員間の双方向コミュニケーションを深める取組みを実施しています。経営層と従業員間のコミュニケーションにおいては、社内ポータルサイトおよびグループポータルサイト上に、経営層からのメッセージを掲載し、従業員が自由にコメントできるようにしています。従業員間のコミュニケーションにおいては、社内ポータルサイト上に、ワークライフバランスのコツや、業務に活用できる便利なアイデア等、様々なテーマで自由闊達に意見交流ができるよう従業員が気軽にニックネームで投稿できる掲示板「みんなdeトーク」を開設しています。



経営層からのメッセージ



関電新聞(2023年1月号)

● 社会のみなさまの声を事業活動に反映

当社グループは、ステークホルダーのみなさまからの声に耳を傾け、頂戴したご意見やご要望について、経営層や従業員と共有を図り、事業活動に反映させることで、信頼を賜ることができるよう努めています。

● 関連データ

	2020年度	2021年度	2022年度
自治体へのご理解促進活動	約5,200回	約4,000回	約2,600回
ボランティア休暇取得	26件(50日)	39件(63日)	53件(64.5日)
社会貢献活動回数(出前教室含む)	467回	836回	1,086回
社会貢献活動額 ^{※1} ^{※2}	1,615百万円	2,052百万円	1,821百万円
うち寄付金額	1,292百万円	209百万円	104百万円

※1 2020年度実績より事業活動を通じた社会貢献活動額も一部計上

※2 2021年度実績より社会貢献活動に係る人件費も一部計上

